

茅ヶ崎市保健所管内感染症情報

令和8年第34週（令和8年8月17日～令和8年8月23日）

○インフルエンザの流行が始まりました。

市保健所管内（茅ヶ崎市・寒川町）において、インフルエンザの1 定点医療機関当たりの報告患者数が「1. 33」となり、流行開始の目安である、「1. 00」を上回りました。

・感染経路と予防方法

インフルエンザの主な感染経路は、咳やくしゃみの際の飛沫による飛沫感染です。

普段から咳エチケットを心がけることや、マスクをすることが有効です。鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。また、予防接種は個人の発病予防や重症化予防に有効です。市では、10月から高齢者等を対象にインフルエンザ予防接種を定期接種として実施予定です。

・主な症状

感染してから1～3日間ほどの潜伏期間の後に、発熱（通常38℃以上の高熱）、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現われ、併せて普通のかぜと同じようにのどの痛み、鼻汁、咳が現れ、約1週間の経過で軽快します。

○手足口病にご注意ください。

手足口病は、感染してから3～5日後に、のどの痛みなどの症状と共に発熱します。熱は38度以下の場合が多く、高熱になることはあまりありません。

発熱から1～2日経つと、手のひら、足の裏、口の中、唇などに2～3ミリの水疱のような発疹が現れます。口の中の発疹が痛むため、食事が十分に摂れなくなることもあります。通常は1週間から10日ほどで自然に消えていきます。多くは1週間程度で軽快しますが、ごくまれに髄膜炎や脳炎、心筋炎などの合併症を引き起こすことがあります。

感染経路は、患者の咳やくしゃみを吸い込む「飛沫感染」と、破れた水疱や便に含まれるウイルスが手を介して口や目の粘膜に入る「経口・接触感染」です。

感染力は発症してから1週間が最も強いですが、症状が治まった後も、便へのウイルスの排出は2～4週間程度続きます。

感染予防には、マスクの着用と流水と石鹸によるこまめな手洗いが重要です。タオルの共用は避けてください。なお、アルコール消毒は効果的ではありません。

【全数把握対象疾患】

	診断（第34週）（件数）	累計（令和8年第1週以降）（件数）
一類感染症		
二類感染症	結核(2)	結核(12)
三類感染症		
四類感染症	レジオネラ症(1)	E型肝炎(1), A型肝炎(2), オウム病(1), レジオネラ症(8)
五類感染症		侵襲性髄膜炎菌感染症(1), アメーバ赤痢(1), カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1), 侵襲性肺炎球菌感染症(4), 水痘（入院例）(1), 梅毒(5), 百日咳(7)

【定点把握対象疾患】

一休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）

	医療機関	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
小児科	A	0	0	0	0	0	4	2	12	0	1	3	0
	B	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	C												
	D	1	0	0	0	1	2	0	2	0	1	5	0
内科	E	6	2										
	F	0	2										
	G	0	0										
合計		8	4	0	0	1	6	2	14	0	2	8	0
定点当たり		1.33	0.67	0	0	0.33	2.00	0.67	4.67	0	0.67	2.67	0

	医療機関	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
眼科	H	0	0
	I	0	0
合計		0	0
定点当たり		0	0

茅ヶ崎市保健所管内における上位3疾患

	疾患名	今週	先週
1	手足口病	14	16
2	ヘルパンギーナ	8	12
3	インフルエンザ	8	3

【急性呼吸器感染症（ARI）】

	医療機関	急性呼吸器感染症
小児科	A	113
	B	16
	C	
	D	60
内科	E	71
	F	21
	G	4
合計		285
定点当たり		47.50

茅ヶ崎市保健所保健予防課

【最近4週間の推移】

上段：報告数 下段：定点当たり報告数

	疾病名	31週	32週	33週	34週	前週比
小児科	定点医療機関数	4	4	4	4	
	RSウイルス感染症	2	2	0	0	➡
		0.5	0.50	0	0	
	咽頭結膜熱	1	0	0	0	➡
		0.25	0	0	0	
	A群溶結性レンサ球菌咽頭炎	2	3	1	1	➡
		0.50	0.75	0.33	0.33	
	感染性胃腸炎	9	16	6	6	➡
		2.25	4.00	2.00	2.00	
	水痘	0	5	4	2	↓
		0	1.25	1.33	0.67	
	手足口病	38	24	16	14	↓
		9.50	6.00	5.33	4.67	
	伝染性紅斑	0	0	0	0	➡
		0	0	0	0	
	突発性発しん	2	1	2	2	➡
		0.50	0.25	0.67	0.67	
	ヘルパンギーナ	16	10	12	8	↓
		4.00	2.50	4.00	2.67	
	流行性耳下腺炎	1	0	0	0	➡
		0.25	0	0	0	
眼科 定点	定点医療機関数	2	2	2	2	
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	➡
		0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	0	0	0	0	➡
		0	0	0	0	
内科 (ARI 定点)	定点医療機関数	7	7	7	7	
	インフルエンザ	1	2	3	8	↑
		0.14	0.29	0.60	1.33	
	新型コロナウイルス感染症	5	4	1	4	↑
		0.71	0.57	0.20	0.67	
	急性呼吸器感染症 (ARI)	378	425	282	285	↓
		54.00	60.71	56.40	47.50	

※急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※前週比は、定点当たりの報告数を基に作成しています

→休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）





